令和4年1月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和4年1月21日（金）13時30分、下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館2階大会議室に召集した。

出席委員は次のとおりである。

佐々木 文夫	教育長
田中 とし子	委員
渡邊 亮治	委員
西堀 政幸	委員
天野 美香	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

糸賀 浩	学校教育課長
平川 博巳	生涯学習課長
土屋 大祐	学校教育課 参事
鈴木 芳紀	生涯学習課 課長補佐
土屋 仁	学校教育課 課長補佐
内田 陽久	学校教育課 子ども育成係長
原 隆史	学校教育課 学校教育係長
澤地 彩	生涯学習課 図書係長

本会議録調製者は次のとおりである。

土屋 仁	学校教育課 課長補佐
------	------------

1 開会

13時30分 教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に渡邊 亮治 委員を選出。

3 12月定例会会議録承認

事務局より資料に基づき説明、承認。

4 教育長報告事項

1月事業報告及び2月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課長から資料に基づき説明。

教育長

新聞記事を参考に何点か報告する。

12月24日には、東京オリンピック・パラリンピック下田市推進協議会で、聖火リレーレガシー銘板を市民文化会館に設置し除幕式を行った。機会があればご覧いただきたい。

次にキーワードはグローバルとの見出しで、委員皆さんに参加いただいた総合教育会議の記事が掲載された。内容については確認いただきたい。

12月27日には、新中学校への引っ越し作業を実施した。

市内小中学校の職員の協力をいただき、3中学校から新中学校へ備品等を移設した。今後、3月にも2回目、3回目の引っ越しを控えている。

次に、伊豆新聞に各市町の広報担当者が選考した十大ニュースが掲載された。

下田市では、2番目に東京オリンピック聖火リレー、7番目に新下田中学校体育館の完成、8番目に新下田中学校でのサーフィン部開設と教育委員会関係のニュースが選考されたので紹介する。

次に、台風で一部損傷した吉田松陰寓居処の茅葺屋根の修復工事が完成したとの記事が掲載された。

1月6日には、小中学校で始業式が行われた。統合前の最後の3学期の始業式として稲穂中学校の様子が記事として紹介された。

1月7日には賀茂地区全市町で成人式の式典が開催され、その様子が新聞記事に掲載された。

次に1月14日には、市制施行50周年記念式典が開催された。盛り沢山な内容であったが、その中で、小学校6年生と中学校2年生を対象とした作文コンクールの最優秀賞、優秀賞の表彰式が行われ、最優秀賞受賞者は式典で作文を発表した。

作品集は委員皆さんに配布したため、後ほどご覧いただきたい。

次に、この時期に毎年、下田で自主トレを行っている、メジャーリーグシンシナティレッズの前山翔吾選手による、少年野球教室が開催され、子ども達に直接技術指導をしていただいた。

午後からは、市制施行50周年記念として講演会も開催され、大勢の子ども達、保護者、指導者等が参加した。

子ども達に対しての質問コーナーが設けられ、多くの子ども達から質問があり、最後には時間切れとなるほど盛り上がっていた。

子ども達の積極性が見られたことは非常に良かった。

最後に、23日に開催される下田河津間駅伝競走大会に対して、ダイドードリンコさんからスポーツ飲料の寄贈をいただいた。

以上であるが、質問等があればお願いしたい。

田中委員

先ほど新中学校への引っ越しの報告があったが、新中学校へ移設しない備品、机、椅子、楽器、図書等の扱いをどのように考えているのか。

また、跡地についてはどのような活用となるのか。

学校教育課長　　まず、新中学校で使用しない備品等については、小学校での活用を優先とし、小学校でも使用しない物品については、4月以降となるが、例えば区や地域の団体等を通じ、活用できないか検討する。

　　図書についても大部分は新中学校で使用することとなるが、それでも不用となるものは、生涯学習課で実施を予定している、まちじゅう図書館での利用や、各中学校で予定する閉校式の際に地域の方に配布することを検討している。

田中委員　　以前、三浜小学校に勤務していた際に統合となり、使用していた備品等は地域の方々や諸団体に活用していただいた経過があった。

　　今回も処分するだけでなく、活用方法を検討していただき、良かったという思いがある。

学校教育課長　　跡地活用については、庁内組織である公有財産有効活用検討委員会で検討しているが、現在のところ、稲生沢中学校を庁舎の一部として活用することのみ決定しているだけで、他については未定である。

田中委員　　残る2中学校の跡地活用については、今後も検討して行くということなのか。

学校教育課長　　はい。

教育長　　稲生沢中学校は体育館、技術棟を活用するかは不明だが、校舎は活用する。詳細については今後検討すると聞いている。

学校教育課長　　稲生沢中学校の施設は、庁舎管理の部署に移管し、そちらで検討することと思われる。

教育長　　3中学校の体育館が廃止となるとスポーツ施設としての体育館は下田中学校のみになってしまう。

　　市民のための視点で検討していただければありがたいと考えている。

教育長　　それでは、教育長報告事項は承認するものとする。

5 議事

(1) 議第1号 下田市立小中学校通学費補助金交付要綱の制定について

教育長　　議第1号 下田市立小中学校通学費補助金交付要綱の制定について事務局の説明をお願いします。

学校教育係長 議第1号下田市立小中学校通学費補助金交付要綱の制定について、教育委員会の承認を求めるもの。

提案理由は中学校の統合に伴い、通学方法に対応した補助金を交付するため。

今回の要綱の制定については、これまでも説明して来たが、通学方法に対応した新たな補助金を交付するため、今までの下田市遠距離通学費補助金交付要綱を廃止し、新たに要綱を制定するもの。

第1条は、本要綱の趣旨で、下田市立小中学校に通学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、通学に要する費用に対し、予算の範囲内で補助金を交付するものとした。

第2条は、定義で、本要綱に規定する、保護者、通学距離、コミュニティバス、定期券、一乗車100円券、それぞれの用語を規定した。

第3条は、補助対象者で、第1項は、下田市に住所を有する者、第1号で、通学距離が概ね4km以上で、路線バス又はコミュニティバスを利用して通学する児童の保護者、第2号として、通学距離が2km以上で鉄道、路線バスを利用して通学する生徒の保護者、第3号として通学距離が2km以上で、自転車を利用して通学する生徒の保護者、第4号として、その他補助金の交付が必要と市長が認めた児童生徒の保護者とした。

第2項は、補助対象としないものを規定しており、第1号で、通学区域外から通学する児童生徒の保護者、第2号で、スクールバスを利用して通学する生徒の保護者、ただし、自宅からスクールバスの停留所までの距離が概ね2km以上で、自転車を利用して通学する場合を除いた。

第4条は補助金の額で、各号に定めるものとし、特別支援教育就学奨励費交付要綱の規定により、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者で、通学奨励費の交付を受けている保護者については、通学奨励費との差額分を交付するものとした。

第1号は、路線バス、コミュニティバス、鉄道を利用して通学する児童生徒には、定期券の購入費を交付することとし、路線バスを利用し通学する生徒には、平日定期乗車券を交付するため、部活動で土・日曜日に路線バスを利用する場合には、一乗車100円券の購入費を含むこととした。

第2号は、自転車で通学する生徒に対しては、年間14千円を交付し、荒天等で、自転車通学が出来ない場合には、路線バス回数券の購入費を交付するものとした。

第3号は、補助金の交付が必要と市長が認めた者については、教育委員会がその都度定めるものとした。

第4条第2項は、転入等により年度の途中から補助対象となった場合には、日割り計算で補助金を交付するものとした。

第5条は委任で、保護者は補助金交付の手続きを学校長に委任するものとした。

第6条は、交付申請、第7条は交付決定について規定した。

第8条は、変更申請で、補助対象者が住所、通学方法等を変更した際の手続きを規定した。

また、第3項で、補助金の増減が生じた場合の取り扱いを規定した。

第9条は、実績報告書の省略で、交付申請書の提出により、実績報告を受けたも

のとする旨を規定した。

第10条は交付の方法で、第4条でそれぞれの補助金額を規定したが、第1項で、コミュニティバス、路線バス、鉄道の定期券、自転車通学者に対する回数券等の補助金は、学期毎に現物を交付し、鉄道は学期通学定期券、路線バス及びコミュニティバスは、4箇月定期券2回、3箇月定期券1回分を交付することを規定した。

第2項で、自転車通学補助金年額14千円は、1学期、2学期それぞれ5千円、3学期4千円を交付することとした。

第3項は、定期券等の購入に対する補助金を定期券等の販売事業者に交付することを規定したもので、定期券等の購入費を直接交通事業者を支払うことで、事務の簡素化を図ることとした。

第11条は、定期券等の返還で、住所の変更、通学方法を変更した場合で、定期券等の返還が必要と認められる場合に返還を求めることを規定した。

第12条は、補助金の返還で、この要綱及び補助金交付の条件に違反したとき、提出された書類に偽りの記載があったとき、偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けたときは、補助金交付の取り消し、又は変更できる旨を規定した。

第13条はその他で、この要綱の施行に関し、必要な事項は教育委員会が別に定めることとした。

附則第1項は、施行期日を定めたもので、本要綱の施行を令和4年4月1日とし、第2項で、従来の下田市遠距離通学費補助金交付要綱を廃止し、第3項として、この要綱の施行日前においても第5条に規定する学校長への委任ができる旨を規定した。

教育長 質疑等があればお願いしたい。

田中委員 第3条第1項第4号に規定する補助金の交付が必要と市長が認めた児童生徒の保護者については、どのような場合が想定されるのか。

学校教育係長 本要綱では小学生は通学距離が概ね4km以上で路線バス又はコミュニティバスを利用して通学する児童の保護者を補助対象者として規定しており、現在の下田市遠距離通学補助金交付要綱では、小学生の通学距離が4km未満であっても、過去に学校が統合した稲梓小学校へ通学する須原地区及び朝日小学校へ通学する田牛地区の児童には、補助対象者として定期券購入費を全額交付しており、不利益とならないように、第3条第1項第4項の例外規定により、補助対象者とするもの。

その他、身体的な理由等により、バス、自転車通学が困難で、保護者等が送迎しなければ通学できない状況も想定している。

これらについては、別途要領を制定し、具体的な補助金額を規定する。

教育長 他に質疑はないか。

全委員 特になし。

教育長 それでは、議第1号下田市立小中学校通学費補助金交付要綱は原案のとおり承認するものとする。

(2) 議第2号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

教育長 議第2号要保護及び準要保護児童生徒の認定について、この件については特定の個人に対する情報が含まれる案件のため、非公開での審議をお願いしたい。

全委員 異議なし。

教育長 議第2号要保護及び準要保護児童生徒の認定について、は非公開で審議を行うこととする。

～非公開審議～

教育長 議第2号要保護及び準要保護児童生徒の認定については原案のとおり承認することを決定した。

<非公開での審議>

認定1件

6 協議報告事項

教育長 次に協議報告事項について、事務局の説明をお願いする。

学校教育課 新型コロナウイルス感染症に係る学校の行事、活動の実施について報告する。
参事 秋の第5波の時点においても協議いただき、学校にも通知を行ったものであるが、その後、オミクロン株の流行や、地域の感染レベルも国に統一されたため見直し、変更をするもの。

感染評価レベルは国のレベルに合わせて0から4とした。

現在の静岡県のレベルは2の警戒を強化すべきレベルで、修学旅行及び宿泊体験活動やその他宿泊を伴わない校外活動は、目的地や活動内容の変更、延期又は中止とした。

先ほども報告したが、中学校の修学旅行は延期とし、大賀茂小学校は時期、目的地、内容を変更して対応する予定である。

部活動は、原則校内での練習とし、十分な感染症対策を講じた上で実施し、賀茂地区内の試合については、地域の感染状況を鑑み、賀茂地区校長会中学校部会の協議によるものとした。

各協会主催の大会が予定されるが、様々な感染症対策を講じて開催される場合、主催者や教育委員会と相談しながら対応を判断することとした。

授業及びその他の活動については、内容や方法を工夫しながら、十分に感染症対策を講じた上で実施することとした。

今後感染評価レベルが上がるのが想定され、レベル3の対策を強化すべきレベル、緊急事態宣言やまん延防止措置になった場合は、修学旅行及び宿泊体験活動やその他宿泊を伴わない校外活動は、原則延期又は中止とする。

部活動については原則自粛としたが、このレベルにおいても協会主催の大会等対応が必要な場合があるため、地域の感染状況を勘案し、主催者や教育委員会と相談しながら対応を判断することとした。

状況によっては、練習や十分な対策が講じられている場合は、参加ができる可能性を残した。

授業及びその他の活動については、工夫しながら十分に感染状況を講じた上で実施するとしているが、必要に応じてタブレット端末を持ち帰っての活動の検討、実施を付け加えた。

各家庭の通信環境は、設定を検討中の家庭もあるかもしれないが、現在把握している通信が困難な家庭は33件である。

そのような家庭については個別の対応になると思われるが、必要に応じてタブレット端末を活用して行く。

更に、その上のレベル4、避けたいレベルが設定されているが、これは、緊急事態宣言の上のレベルで、ここまで来ると色々な活動を中止せざるを得ないが、国・県からの通知に従って対応することになると思われる。

逆にレベル1の維持すべきレベルについては、緩やかな設定で、以前と変わりはない。

レベル0では、感染症対策に配慮した上で通常実施としている。

次に、感染が確認された場合の臨時休業等の対応についてであるが、これは、秋に出したものと基本的には同様で、感染した場合や濃厚接触者となった場合は出席停止扱いとし、学級閉鎖、学年閉鎖、学校全体の臨時休業については、1名感染者が確認されたから、全部閉鎖するという訳ではなく、感染経路が不明の場合や、把握をしなければならないといった場合には、一旦学校を閉めて確認をする。

一人感染者が出たとしても、濃厚接触者が校内におらず、感染経路がはっきりしている場合は、学校を閉めずに、継続して活動を行う。

なお、まだ感染拡大の可能性があると考えられる場合には、感染拡大を防ぐため、学級閉鎖、学年閉鎖、全体の臨時休業の設定をしている。

追加をした部分については、タブレット端末の活用についての準備を進めてきたため、必要に応じて実施をしていくこととしている。

更に、家庭へのお願いとして、同居の家族に発熱等かぜ症状が見られる場合には、原則児童生徒の登校を控えるよう付け加えた。

ただ、これまでの相談の中で、普段から平熱が高い場合でも、受診の結果、医師から心配ないと言われている場合もあるため、具体的に医師から指示を受けている

場合は学校と相談する旨を記載した。

教育長

これから静岡県が政府にまん延防止措置を要請して、その結果が来週の月曜日に判明すると思われる。

24日に政府が各都道府県からの要請を検討し、政府決定により措置を行うということで、静岡県にまん延防止措置が適用されるのは早くても25日から、遅くて26日からの可能性がある。

皆さんにお示しした内容は、学校とは協議をしていないため、これを元に学校と協議するが、多少変更点があるかもしれない。

一例として部活動はまん延防止措置となればレベル3になることから、原則自粛としているが、前回のまん延防止措置の期間に市内でクラスターが発生した際、市内中学校では部活動を中止したが、賀茂地区の中学校では学校内での部活動は行っていた。

現状では、市内でクラスターが発生していない状況で、時間を短縮する等、少しでも子ども達に活動の機会を与えたいというような意見もいただいている。

毎週金曜日に4校で現状の連絡を取り合い、教育委員会と協議し、少しでも両立をさせたいという要望であるので、部活動については学校と協議した後に、皆さんにお示しする方向で進めて行きたい。

全委員

異議なし。

教育長

他にこの件について、意見があればお願いしたい。

田中委員

避けたいレベルのレベル4とはどのような状況なのか。

静岡県に緊急事態宣言が発令されていても、市内や伊豆地区では、比較的感染者の数が少ないという場合もある。

レベル4については、緊急事態宣言が発令中で、しかもクラスターが発生したというような場合には、教育活動も中止するぐらいのレベルということなのか。

教育長

感染者の人数が何人なのかというのは、決められないが、クラスターが発生し、今後市中感染が拡大する可能性がある場合には当然学校も閉鎖になると思われる。

現在は、文科省からも学びを止めないということで、学校閉鎖等は極力避けるという流れになっているが、非常に厳しい状況である。

今日の新聞報道では、川根本町では、全校閉鎖、休業したとの記事が出ていた。その地域での広がりを見ると難しい。

田中委員

人口との関係もあるだろう。

教育長

ある程度基準を作成しないと、学校もその都度の対応は難しいため、このような基準を作成し、学校に配布する。

備考には、国の評価レベルが3であっても緊急事態宣言やまん延防止措置重点区域から外れた場合は、レベル2相当の対応となることもあると記載した。

レベル3であっても、賀茂地区或いは下田の感染が抑えられている場合にはレベル2も視野に入れながら活動するということ考えている。

感染者の人数だけでなく賀茂、下田の状況を考慮しながら、対応して行きたいと考えている。

このような形で、今後、学校と協議を行い、最終決定したい。

西堀委員 小中学生のワクチン接種の状況はどのようになっているのか。

教育長 政府は、5歳から11歳までのワクチン接種を考えており、3月位からのスタートになるのではないかと情報は聞いているが、現状では正式な通知が来ているわけでもなく、詳細は把握していない。

田中委員 他の地域では、小学生の感染者も出ているようであるが、下田市、又は賀茂地区の小中学校で感染者は発生していないのか。

教育長 賀茂地区で1件聞いている。

下田と同様に、1件で他に感染が拡大する可能性が無ければ学級閉鎖も行わない方針で考えているようである。

他に質疑はいかがか。

全委員 特になし。

教育長 協議報告事項は終了とする。

7 その他

教育委員会2月定例会を2月22日(火)13時30分から下田市立中央公民館大会議室で開催。

8 閉会

1月定例会 1月21日(金)14時40分開会。

教育長 14時40分に閉会を宣す。

会議録署名人